



現代資本主義をつらぬく経済法則、経済過程に介入する国家、その政策的限界…イギリスと EU、アベノミクスと日本経済を題材に学ぼう。
①市場と国家、国家独占資本主義、ケインズ政策、②80 年代の EC 経済停滞と改革、EU への発展、EU 政策と各国国民の利害対立、イギリス国民投票、③アベノミクスとその行きづまり、グローバル視角からの分析、④国家とその経済政策をめぐる国民的闘争。

増田正人

法政大学教授

第1講

イギリス国民投票結果の意味と「アベノミクスの宴」の後

1DAY SEMINAR

主催：東京学習会議

東京学習会議

検索

メール：gakusyuukaigi@gmail.com 電話：03-5842-5646

長時間労働の低処遇化、非正規化、「細切れ雇用」が拡大している。日本の労働者、労働運動が、労働市場を規制するパワーを形成するほかには、労働市場の底抜け状態と＜資本独裁＞をなくす途はない。事態の改善のために、具体的な道筋についての研究と討論をはじめよう。

後藤道夫

都留文科大学名誉教授



第2講

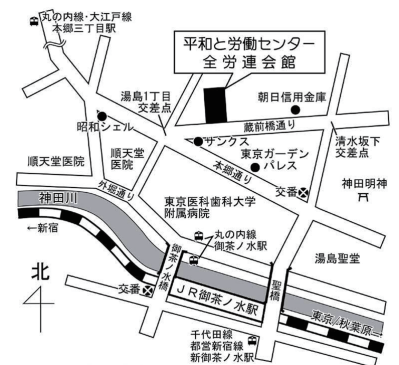
底抜けが拡大する労働市場：労働者と労働運動は何をすべきなのか

8.27 SAT 13:00~17:00
全労連会館 3F

会費 ¥2,500

* CD 郵送 ¥3,000 音声 CD(CD プレーヤーで再生) or データ CD(パソコンで再生)

* 音声受講 ¥2,000 ※詳細は web サイトをご覧ください



東京労働学校 第 131 期 1day セミナー 受講申込書 03-5842-5647 まで FAX してください (メールでも可)

名前				男・女	年齢	才
住所	〒					
電話	携帯：			自宅：		
メール						
申込内容	1. 教室受講 2. 音声 CD 3. データ CD ※「音声受講」は web サイトでお申込みください					
(あれば) 労組・団体名						